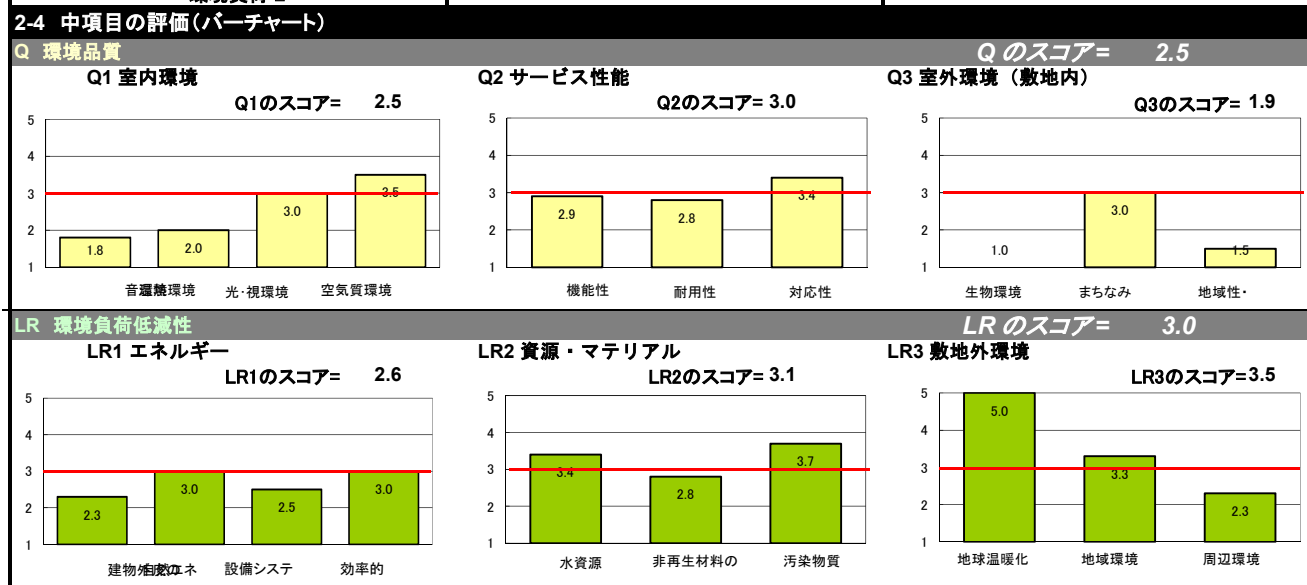
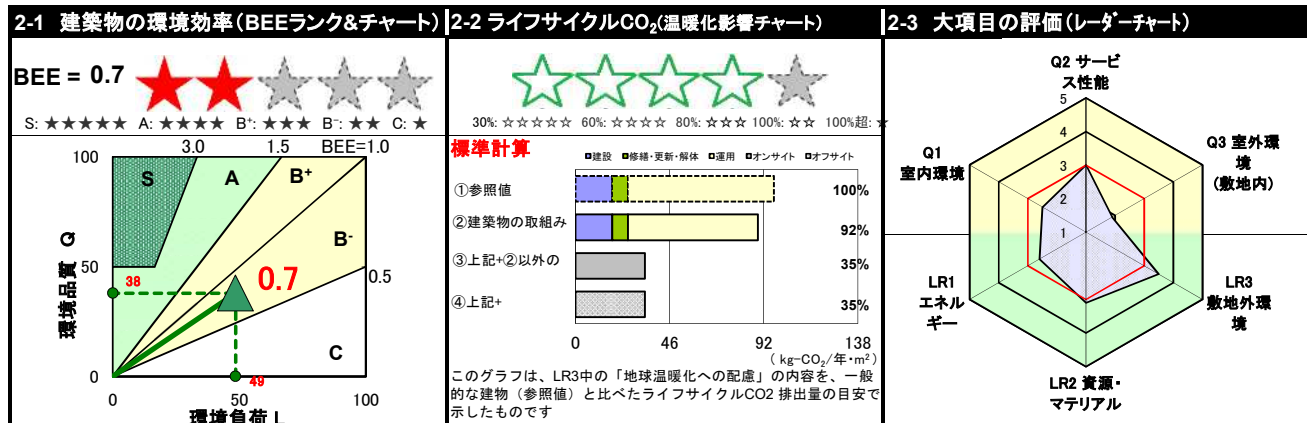


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)アウディ・フォルクスワーゲン 厚木新築工事	階数	地上1階	
建設地	神奈川県厚木市戸田字上ノ町252番1ほか11筆	構造	S造	
用途地域	準工業地域 法22条区域、防火地域指定なし	平均居住人員	30 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,120 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2025年2月26日	
敷地面積	4,785 m ²	作成者	株式会社 下舞設計	
建築面積	2,734 m ²	確認日	2025年2月26日	
延床面積	2,650 m ²	確認者	株式会社 下舞設計	



3 設計上の配慮事項		
総合 環境資源に配慮した建材 (F☆☆☆☆や再利用可能な部材) や設備機器 (節水や非燃焼器具) を取り入れ、かつ設備効率の良い機器 (LED等) を採用することで、環境負荷低減を総合的に計画している。		その他 特に無し
Q1 室内環境 内装材全てにF☆☆☆☆クラスの材料を採用している。	Q2 サービス性能 売場天井高にゆとりを持っている。 給排水配管に、更新必要間隔の長い素材を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 色彩等において周辺のまちなみや風景に調和をもち、緑地や空気を設け風通し等を設けている。
LR1 エネルギー 十分な外皮性能、省エネルギー性に配慮する。	LR2 資源・マテリアル 自動給湯栓や節水型便器で、水資源保護に配慮する。	LR3 敷地外環境 風下となる地域への風通しを配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される